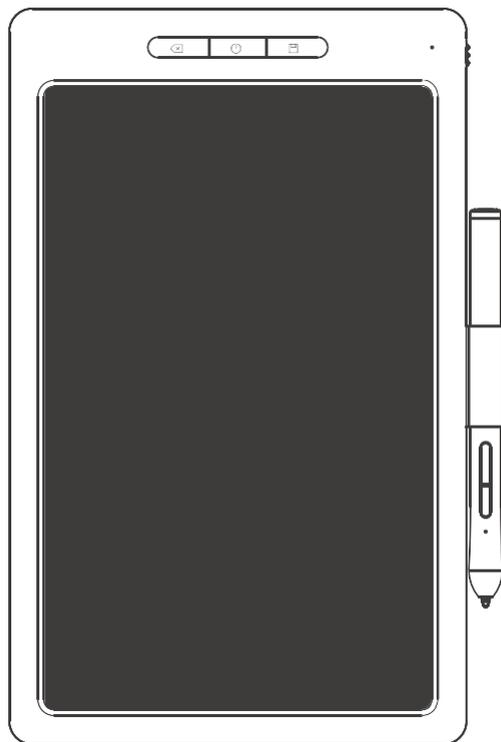


DigiNote Pro2

製品取扱説明書

(Ver 1.0)



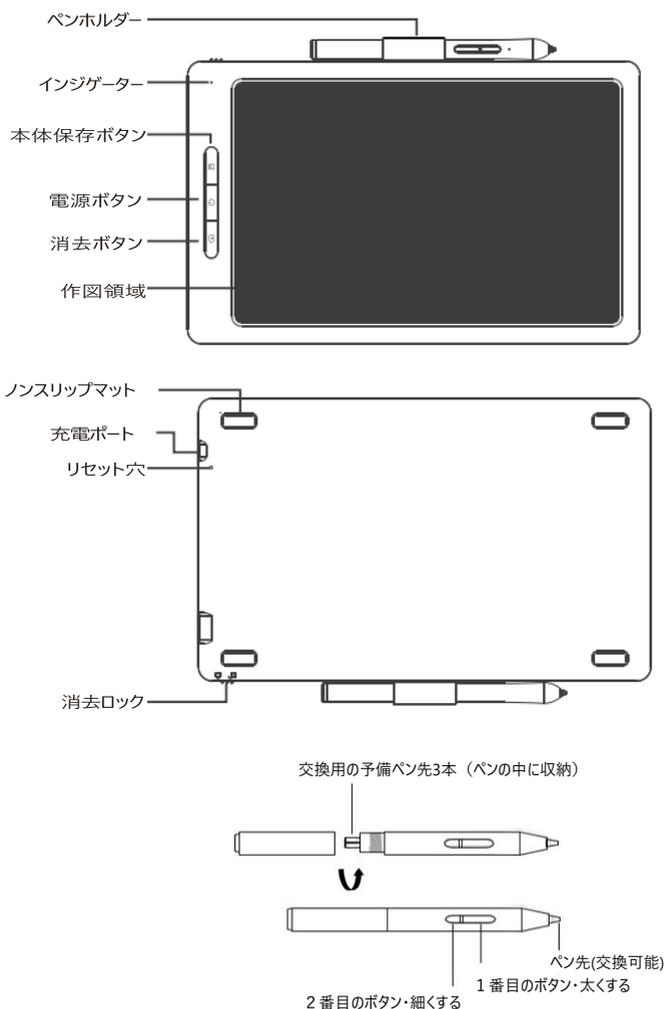
目次

製品の外観、各部名称	3
1.タブレット機能について.....	5
1-1.電源 ON/OFF とLED表示.....	5
1-2.消去ボタン.....	5
1-3.保存ボタン.....	5
1-4.本体の充電について.....	6
2.ペン機能紹介.....	6
2-1.ペン使用時の動作調整方法:.....	7
2-2.ペンの先端の交換について.....	8
3.携帯端末との接続方法（eDrawアプリ クイックガイド）.....	8
3-1.「eDraw」アプリとの接続について.....	8
3-2.「eDraw」アプリのダウンロードとインストール.....	8
3-3.「eDraw」アプリのBluetooth接続方法.....	10
3-4.「eDraw」アプリのキャンパス上の操作について.....	12
3-5.その他の機能.....	14
4.PCでの利用について.....	15
4-1.Windowsでのインストール:.....	15
4-2.Macでのインストール:.....	16
4-3.PCとの接続方法.....	18
5.Graphics Tabletの設定.....	19
5-1.[Pressキーボタン]タブ.....	20
5-2.[ペン]タブ.....	21
5-3.描画領域の設定.....	22
5-4.[その他]タブ.....	23
6.Q&A.....	24
7.保証について.....	25

製品の外観、各部名称

本製品は携帯機器とBluetooth接続し専用アプリと同時描写できる電子タブレットです。「鉛筆」「マーカー」とペン先の種類を使い分けることで、水彩画や油絵のような作品も描けます。出来上がった作品の筆跡を、専用アプリのリプレイ機能で再生することもできます。

また、本製品とパソコンをUSBケーブルで接続することで、パソコンソフトの「手書き機能」を利用し、本製品の画面上で手書きした内容をパソコンソフト側に同時描写させることができます。同様にWebツールなどの「手書き機能」を使うことで手書き描写を共有することができるため、リモートワークでのオンライン会議や研修、教育などの場面で活用することができます。



■機能概要

		パソコン ※ 3つのボタンの割り当てはドライバによりカスタマイズ可能	携帯機器
システム要件		Windows 7以上 Mac OS 10以上	Android6.0以上 iOS 9.0以上
利用ソフトウェア		Graphics Tabletドライバ	eDrawアプリ
接続タイプ		USBケーブル	Bluetooth接続
タブレット	操作時インジケータ	黄	緑
	 保存ボタン	本体保存時に使用 PC利用初期設定：PgUp機能	/
	 電源ボタン	約3秒間の長押しで電源オン・オフ PC利用初期設定：Ctrl+E機能	
	 消去ボタン	2回連続押しにより消去 PC利用初期設定：PgDn機能	
ペン	1番目のボタン	PC利用初期設定：キーボード“E” ※ドライバによりカスタマイズ可能	
	2番目のボタン	PC利用初期設定：右マウスボタン ※ドライバによりカスタマイズ可能	アプリ連携時「細くする」
リセット	タブレットが応答しない場合は、本体リセットをお試しください。電源ON状態で「リセット穴」にピンを挿しこむと緑LEDが消灯します。3秒ほどでピンを戻すと緑LEDが明るく点灯し、ふたたび消灯⇒緑点灯となればリセット完了です。		

■製品サポートについて

DigiNote Pro2のご使用にあたり、参考資料をご用意しております。

必要に応じて下記よりご参照またはダウンロード願います。

製品サポートサイト <https://mktrade.jp/support/>

- ① 【DigiNote Pro2】取扱説明書（随時更新いたします）
- ② 【Graphics Tablet】関連資料（FAQ付き）
- ③ 【DigiNote Pro】Windows10でペン入力
- ④ 【DigiNote Pro】eDrawアプリ導入ガイド



製品サポートサイト（MKトレード）

1.タブレット機能について

1-1.電源 ON/OFF と LED 表示

- ・タブレットの電源が切れているときに、“”を3秒間押して電源を入れます。
緑色のインジケータLEDが7回点滅後に点灯すると、タブレットが機能していることを意味します。
- ・「eDraw」アプリから「DigiNote接続」を開くと、Bluetooth接続により自動的にスキャンされ、タブレットに接続されます。緑色のインジケータLEDが一度点滅すると、正常にBluetooth接続された事になります。
- ・インジケータLEDが緑点灯しているときに“”を3秒間押して電源を切ると、インジケータLEDが消灯します。
- ・ペン先がタブレットの描画領域内にあるときは緑色のインジケータLEDが、明るくなります。
- ・通常の作業状態では、タブレットのインジケータLEDは緑色点灯、USBケーブルでPCに接続されている場合は、インジケータLEDが黄色(やや赤色)になります。
- ・1時間以上使用しない時間が続くと、タブレットはスリープ状態になりLEDが消灯します。
いずれかのボタンの一度押すとインジケータLEDが7回点滅後に緑点灯し、起動状態に戻ります。
起動状態に戻さなくてもタブレット画面に描くことはできますが、「eDraw」とのあらゆる連動作業はできません。

1-2.消去ボタン

消去ボタン“”を2度続けて押すと、赤いインジケータLEDが点灯し、タブレットに描かれたメモが消えます。 ※2度押しは誤消去防止の意味もあります。

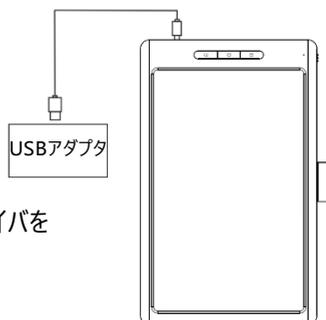
1-3.保存ボタン

タブレット本体に保存する場合に使用します。アプリ連携時の保存でも使用できます。
タブレットにメモを書いたあと、赤いインジケータLEDが点滅するまで“”を1秒間押し続けます。書いたメモが消えるとタブレット本体に保存されたこととなります。
続けて新しいメモを書いて保存ボタンを押すことで、「2 ページ目」として保存されます。
タブレット本体に保存した内容を確認するには、スマホ側のアプリ操作で取り込みます。
※アプリ側に取り込んだデータは、タブレット本体からは削除されます。
※タブレット内のメモリがいっぱいになると、赤と緑のインジケータLEDが交互に点灯します。
アプリ側に取り込んでタブレット本体データを空にしてください。

1-4. 本体の充電について

本体の充電には3つの方法があります。

- ① USB充電ACアダプタと接続
- ② PCのUSBポートと接続
- ③ モバイルバッテリーと接続



※PCと初めて接続する前に、後述の「Graphics Tablet」ドライバをインストールしてください。

- タブレットの電源をOFFにして、付属のUSBケーブルを充電口に接続します。
- 充電中は緑色のインジケータLEDが点滅します。
- 満充電になるとランプが消えます。（およそ3～4時間）
- 赤いインジケータLEDが点滅する場合には、最初に充電してください。

2. ペン機能紹介

ペンはそのままだで使用ください。（充電不要です。）

ペン使用時には、ペンのボタンに誤って触れないようにご注意ください。

注意：タブレットを使用しないときは、タブレットの画面上にペンを置かないでください。

PCと接続した状態でタブレットの上にペンを置いたままにすると、PCがスリープモードにならない場合もあります。

ペンボタン	アプリまたはPCに接続してタブレット画面の近くにある状態（ペン先がタブレット画面に触れていない状態）で使用する場合でも、ペン先の手書きの太さを調整できます。
ポインタの動き	タブレットの作業領域内でペンを動かすと、PC画面上のマウスイカーソルを任意の位置に移動させることができます。作業領域から外れた場合は認識しません。
先端のダブルクリック	タブレットの作業領域上でペンをダブルクリックすると、マウスの左ボタンをダブルクリックしたのと同じ効果が得られます。初めてペン先をクリックした後は、できるだけ早く、最短時間で再度クリックしてください。
ドラッグ	ペン先がアイコンやファイルを選択した後は、離さないでください。ペン先を使用しマウスイカーソルをPC画面上でスワイプすると、アイコンやファイルが指定した場所に移動します。

2-1.ペン使用時の動作調整方法:

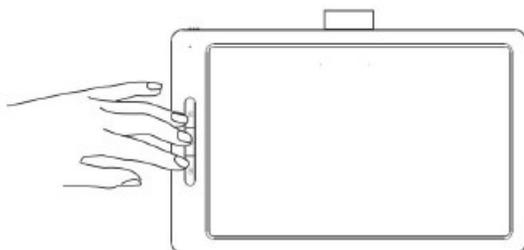
ペン先の動きとアプリ側での描画の連動がおかしい場合、「ペンの動作調整」をすることで解消されます。

下記の状態の場合には、「ペンの動作調整」を行ってください。

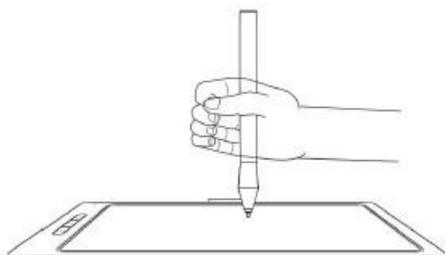
- 画面に触れていないのにアプリに描画される
- 同時描画される位置がずれてしまう
- ペン先を動かしていないのにアプリ側に描画される
- ペン先を交換直後に動きが合わなくなった

■ペンの動作調整

- ① アプリとタブレットを接続し、タブレットに書いたものがアプリに同時描画されることを確認します。
- ② 緑色のインジケータLEDが点灯中にタブレットの3つのボタンを同時に押します。
LEDが一度消え、もう一度緑点灯したらボタンを緩めます。
これでペンの動作調整可能状態になります。

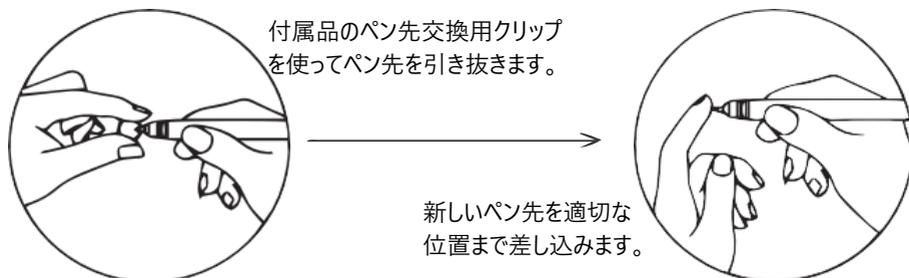


- ③ ペン先をタブレット画面表面のできるだけ近くに固定します。



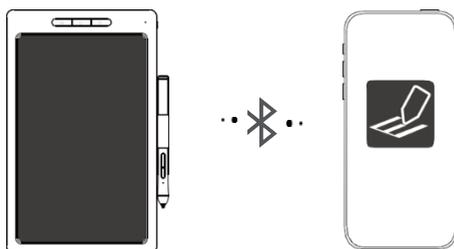
- ④ 緑LEDが1回明るくハイライトし、次に通常の緑点灯に変わったら、ペン使用時の動作調整方法は完了です。
※LED緑3回点滅した場合、調整が失敗していますのでもう一度やり直してください。
※製品サポートページ内の「ペン動作調整について」の動画もご参照ください。

2-2. ペンの先端の交換について



3. 携帯端末との接続方法（eDraw アプリ クイックガイド）

3-1. 「eDraw」アプリとの接続について



タブレットに携帯機器を接続して使用する場合、携帯機器に「eDraw」アプリをインストールする必要があります。

専用アプリ「eDraw」※無料でご使用いただけます。

接続タイプ : Bluetooth

システム要件 : Android4.3以上、iOS 9.0以上

3-2. 「eDraw」アプリのダウンロードとインストール

携帯機器等に「eDraw」アプリをインストールします。

iOSの場合 : App Storeで「eDraw」を検索してインストール

Androidの場合 : Playストアで「eDraw」を検索してインストール

以下のQRコードをスキャンしてインストールすることもできます。



※専用アプリは随時改定に努めております。予告なしにバージョンアップされる場合がございます。それにより表示が若干変わる可能性がございますことをご了承くださいませ。

※専用アプリ単独での描画にもお使いいただけます。

Android での位置情報 ON について

携帯端末がAndroidの場合、GPSをオンにする旨のメッセージが表示されます。Androidの仕様のため避けられず、GPSオンにしてご使用ください。接続後はオフにしても構いません。

「eDraw」アプリ画面の各部名称と役割

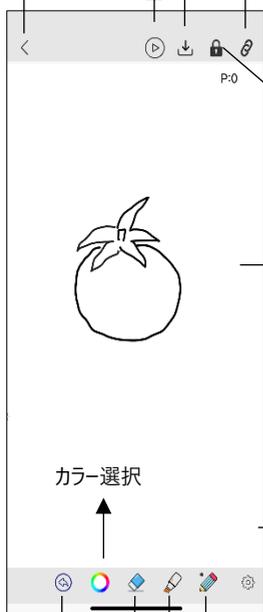
メモ編集画面

前画面に戻る

保存

Bluetooth
接続状況

リプレイ

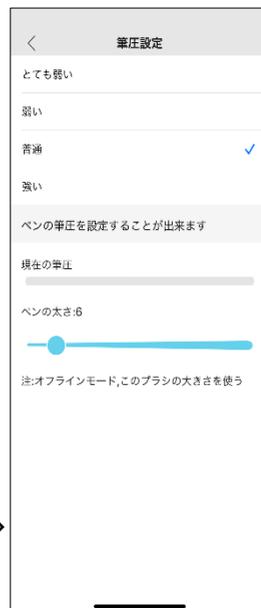


消しゴムロック

書き込み領域と
描画エリア

筆圧設定

筆圧設定の画面（歯車マーク）



「eDraw」アプリ内の「iDraw」と「iNote」について

「eDraw」アプリの中には、「iDraw」と「iNote」の2つのメニューがあります。
それぞれ、下記のように使い分けます。

「iDraw」: 主にイラストなどの「作品」を作るイメージ（わたしのお絵描き、の意味）
カメラやアルバムから写真を取り込んで、それを加工することができます。
※主に製品「DigiNote Pro2」で使用

「iNote」: ノートの中に「メモ」を保存するイメージ（わたしのノート、の意味）
「ノート」を作成して、その中に「メモ」を保存し、「ノート」単位で管理できます。
※主に製品「T-Note」で使用

3-3. 「eDraw」アプリの Bluetooth 接続方法

【ご注意】 タブレットとのBluetooth接続は携帯端末（スマホ）のBluetooth設定から検出して接続する仕様ではありません。

※Bluetooth設定画面でペアリングしようとしてもデバイスとしては表示されません。

以下の手順で、アプリ操作から接続されるようになります。



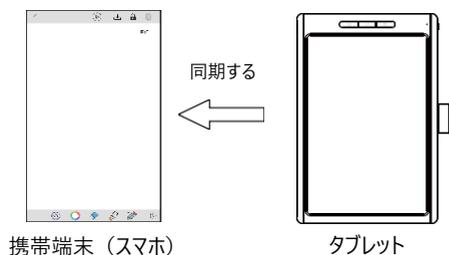
- ① 携帯機器のBluetooth機能を「ON」にします。
- ② 「eDraw」アプリを開き、メニュー一覧の「iDraw」をタップします。「私の作品」画面で右上隅の「+」をタップし、「DigiNote接続」をタップします。
- ③ 「eDraw」アプリは自動的にタブレットをスキャンします。アプリは、「スキャン中」→「接続が完了しました」というポップアップを表示します。
- ④ タブレットのLEDが1回緑点灯すると、Bluetooth接続が成功したことを意味し、同期書き込みが可能となります。画面右上の接続マーク  に色が付いたことをご確認ください。

タブレットに書いている間はその内容がアプリの画面に同期されます。

※AndroidバージョンによってはOS仕様により「位置情報ON」にする必要があります。画面にしたがって操作してください。

メモを保存する2つの方法

a. アプリと同期させながら携帯端末（スマホ）に保存



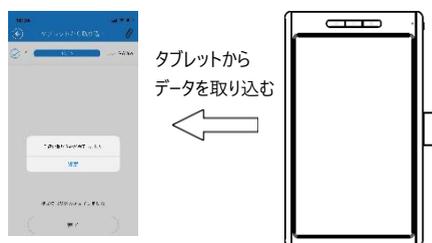
■タブレットとアプリを同期

「DigiNote接続」をタップし接続成功すると、タブレットに書いたものがアプリ画面上で同期します。

メモを描き終えたら、アプリ上の保存ボタンかタブレットの保存ボタンで保存します。

※この場合、タブレット本体には保存されません。

b. アプリと同期せず、本体に保存



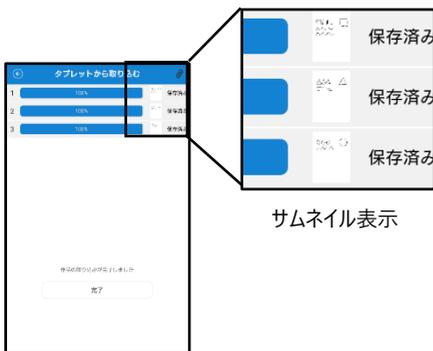
■タブレット本体保存

- ① アプリと接続せずにタブレット本体にメモを描きます。
- ② タブレット本体の保存ボタンを長押しし、明るく緑点灯後に赤点灯したら離します。
このとき書いたものが消え保存されています。（保存するごとに1ページ分となります）

■携帯端末（スマホ）

※取り込む前に、携帯端末（スマホ）「Bluetooth」がオンになっていることを確認しておきます。（ここでのペアリングは不要です。） Android端末では、GPSもオンにします。

- ① 「eDraw」アプリを開き、「iDraw」をタップし、「私の作品」画面で右上隅の「+」をタップします。
- ② アプリから「DigiNoteのデータを取り込む」をタップすると、タブレットと接続されます。
- ③ 保存したページ分だけ、自動的にアプリ側に取り込まれます。
- ④ 「確定」を押し、取り込んだメモの一覧に戻ります。
※取り込み後、タブレット本体の保存データは無くなります。
- ⑤ 「完了」を押して「私の作品」に戻ります。



サムネイル表示

サムネイル表示

タブレット本体から取り込まれたデータは保存したページ分がサムネイル（縮小）表示されます。タップすると全画面表示となり詳細を確認できます。

全画面表示でもう一度タップすると、サムネイル表示に戻ります。

※本体に保存した内容はスマホと接続されてから、スマホ側で確認することになります。保存された枚数や内容は本体側では確認できません。スマホ側に取り込んだ後、本体からは削除されます。スマホ内部にはPNG形式で保存されます。

eDraw アプリのメモの削除について

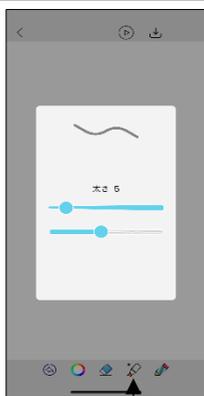
「eDraw」アプリにメモを保存した場合、携帯端末の「アルバム」「写真」にPNG形式で保存され、直接確認することも可能です。アプリ内でメモを削除すると、携帯端末の「アルバム」「写真」からも削除されます。「アルバム」「写真」から削除するとアプリ上からも削除されます。

3-4. 「eDraw」アプリのキャンバス上の操作について

2 種類のペンを切り替える方法



鉛筆



マーカー

メモを書く時のペンの種類は、「鉛筆」と「マーカーペン」の 2 種類があります。「鉛筆」、「マーカーペン」をタップして切り替えます。

長押し、または連続タップすると、太さの設定ができます。

※「マーカーペン」は、「不透明度」の調節もできるため、重ね塗りなどにも適しています。

筆圧設定について



メモ入力画面で、画面下の右端（歯車マーク）ボタンをタップすると、4段階のペンの筆圧を設定することができます。また、ペンの太さの設定ができます。

筆圧設定 : 「とても弱い」、「弱い」、「普通」、「強い」

現在の筆圧 : 現在の筆圧が確認できるので、好みの筆圧に設定できます

ペンの太さ : バーで太さの調整ができます

消しゴムの使い方

メモ入力画面で、画面下の「」をタップすると、書いた線を消すことができます。

「鉛筆」の線を消す : 「鉛筆」を選択し、消したい線を指でなぞります。

「マーカーペン」の線を消す : 「マーカーペン」をタップし、消したい線を指でなぞります。

キャンパスの全消去 : 「」を長押しします。

※鉛筆部分を消す場合、   の様に両方選択してください。

※消しゴム機能が使えない場合、消しゴムロックを解除してください  ⇒ 

【注意】

- 書いた線を消す場合は、アプリ画面上を指でなぞります。
- アプリ側で「消しゴム」を選択していても、専用ペンが T-Note 本体の描画領域で感知されると、「消しゴム」が解除されます。
- 消す範囲を広げたい場合には「鉛筆」「マーカー」それぞれの太さを調整することで消す太さも変えることができます。
- 消しゴム + 鉛筆で消す場合、太さが一番細くなっていますので、一見、消えているのかわかりにくい場合もございます。その場合には太さを調整するなどお試しください。
- 消し過ぎてしまった場合には、カラー左側の「戻る」ボタンで、操作を 1 回ずつ戻していくことができます。書いた部分も含めて、ずっと戻していくことができます。

カラーの使い方



メモ入力画面で、画面下のカラーのアイコン「」をタップすると、色を変更できます。 変更したい色を選択します。

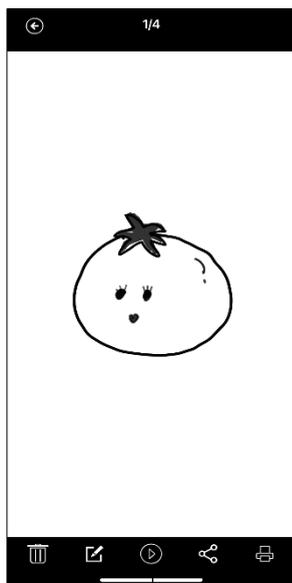
色をタップして選択する他に、「RGB」「HSB」で色を選択することができます。

描画の戻し方



メモ入力画面で、画面下の一番左の戻るアイコン「」をタップすると、一筆ごとに前に戻すことができます。

3-5.その他の機能



メモをシェアする

シェアしたいメモを開き、画面下の「」アイコンをタップすると、他アプリへ共有することができます。

※シェアできるアプリはご利用の携帯機器の環境に左右されます。

保存済のメモを編集する

対象のメモを開き、画面下の「」アイコンをタップすると、保存したメモを編集できます。

作ったメモの再生

対象のメモを開き、「」アイコンをタップすると、描画が再生されます。

※カメラロールから取り込んだ画像を加工した場合、再生（リプレイ）機能は使えません。

4.PCでの利用について

次の手順でご利用ください。

1. GraphicsTabletドライバをインストール
2. DigiNotePro2とパソコンをUSBケーブルで接続
3. ペイントソフトなどを起動し『手書き』を試し書き

※GraphicsTabletドライバは毎回起動する必要はありません
※描画領域やペンの設定が必要な場合のみ起動してください

次のサイトからGraphicsTabletのドライバをダウンロードします。

<https://mktrade.jp/support/>



※ご使用のパソコンのOS（Windows/Mac）に適したドライバをダウンロードしてください。

※製品サポートページ【**Graphics Tablet**】関連資料(FAQ付き)もご参照ください。

4-1.Windowsでのインストール:

- ① 他メーカーのタブレットドライバが使用されるパソコンにインストールされていないことを確認してください。
※他のタブレットドライバが入っている場合、動作不具合が生じる可能性があります。
その場合には他のドライバを削除、または「タスクの終了」してから再度お試しください。
- ② インストールする前に、ペイント系ソフトやアンチウイルスソフトを終了してください。
- ③ ダウンロードしたドライバ実行ファイルをダブルクリックして「次へ」をクリックし手順に従い順番に操作してください。
- ④ ドライバのインストール後にパソコンを再起動してください。



4-2.Mac でのインストール:

【ご注意】

Macでの「Graphics Tablet」インストール時に「開発元が未確認のため開けません」と警告が出る場合がございます。

その場合には、Controlキーを押しながらドライバ（pkgファイル）をクリックして、ショートカットメニューから「開く」を選択します。

※Appleに登録されていない開発元の場合に、Mac OSのバージョンによっては表示されてしまいます。Apple公式サイトでも案内されている事案となります。

- ① ダブルクリックしてドライバ（pkgファイル）を実行し、アプリケーションの「Continue(続ける)」をクリックします。



- ② 「Continue(続ける)」をクリックします。



- ③ 「Install(インストール)」をクリックします。



- ④ パスワードを入力し、「ソフトウェアのインストール」をクリックします。



- ⑤ 「Close(閉じる)」をクリックします。



- ⑥ ドライバのインストール後にパソコンを再起動します。

- ⑦ [システム設定] - [セキュリティとプライバシー] - [プライバシー] を確認してください。
GraphicsTabletに「✓」が入っていることを確認します。



注意：

- ・他メーカーのタブレットドライバが入っている場合、動作不具合が生じる場合があります。他のドライバをタスク終了、または削除してから再度お試しください。
- ・デフォルトの手順に従ってドライバをインストールします。インストール時の設定を変更しないでください。変更すると、実行中に問題が発生する場合があります。
- ・インストール中に、ファイアウォールによってブロックされることがあります。数回 [このプログラムソフトウェアをインストールする] を選択して、続行してください。
- ・ファイルを実行しようとすると、「WindowsによってPCが保護されました」と表示されたり、検査済みのドライバでも「発行元」に「不明な発行元」と表示されたりすることがあります。「不明な発行先」と表示されても、安全性が確認できておりますので実行してください。

4-3.PC との接続方法

※パソコンと接続した場合、タブレットは標準で横向き（充電口が左側）となります。

- ① “” 電源ボタンを約3 秒間押してタブレットの電源を入れます。
- ② 付属のUSBケーブルで、タブレットとパソコンを接続しドライバソフトを起動します。
- ③ 通知領域の「GraphicsTabletアイコン」が灰色からカラーになると、接続が確立されている状態です。

GraphicsTablet画面には、『グラフィックスタブレットが接続されました』と表示されます。

- ④ タブレットのインジケータが薄い黄色に点灯すると、タブレットを使うことができます。

注意：

初めてタブレットを接続する前にパソコンにドライバをインストールしてください。ドライバインストールの遅延やハードウェア識別中のエラーを回避します。

インジケータ LED について

- ・タブレットをパソコンに接続すると、インジケータLEDが薄く黄色(やや赤みがかった黄色)に点灯します。
- ・描画領域内でペンが検出されるか、またはペンのボタンが押されると、インジケータLEDが黄色でやや強い点灯になります。

5.Graphics Tablet の設定

「Graphics Tablet」ソフトでは、必要に応じて、次の設定が可能です。

[Pressキーボタン]タブ

- ショートカットキー割当
- 本体ボタンへのKBキー割当

[ペン]タブ

- 筆圧の固さ調整
- 専用ペンのボタンにKBキー割当
- モード切り替え

[描画領域設定]タブ

- 描画範囲
- 画面の向き
- 2画面利用設定

[その他]タブ

- 設定のインポート、エクスポート
- 設定をデフォルトに戻す

ホットキーの割り当て

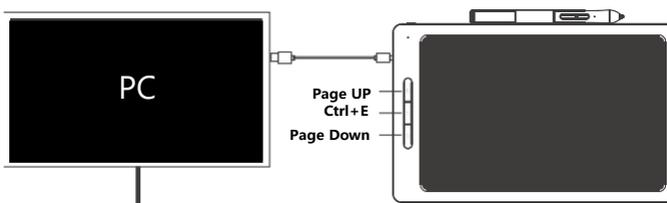
デフォルトではタブレットの3ボタンにショートカット機能が割り当てられています。

タブレットのボタンを押すと、パソコンでのショートカットボタンとして操作が出来ます。

保存ボタン → PgUpキー (Page UP)

電源ボタン → Ctrl+E

消去ボタン → PgDwキー (Page Down)



5-1.[Press キーボタン]タブ

3つのボタンに任意のキー割り当てを設定することができます。

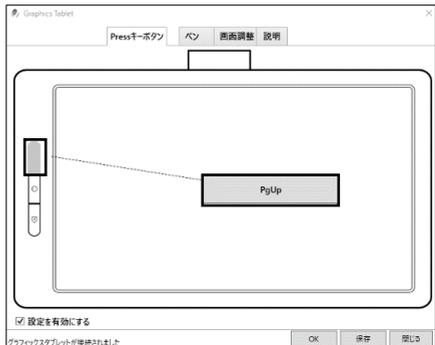
- ① GraphicsTabletの「Pressキーボタン」タブを開きます。
- ② タブレット図面上で設定したいキーを選択すると「ボタン名」が表示されます。
- ③ 表示された「ボタン名」をクリックすると[ホットキー設定]画面が開きます。
- ④ 必要な機能設定をし「OK」とすると設定が保存されます。

■キーボードとの組み合わせキー

例：PowerPointの「スライドショー全画面再生」での「Ctrl+P」は、「ペン機能」です。

タブレットの「PgUp(保存)」ボタンに「Ctrl+P」を割り当てる場合、以下の手順となります。

- ① 「PgUp（保存）」ボタンをクリックして表示された「ボタン名」をクリックすると[ホットキー設定画面]が開きます。



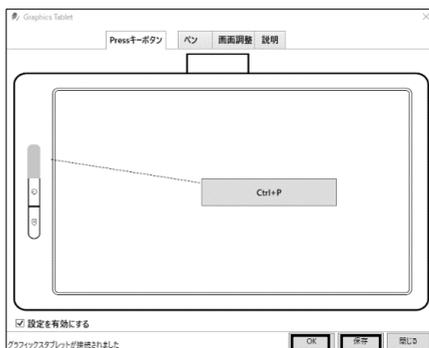
- ② 「ctrl」を選択して「p」の文字を入力し、「OK」をクリックします。



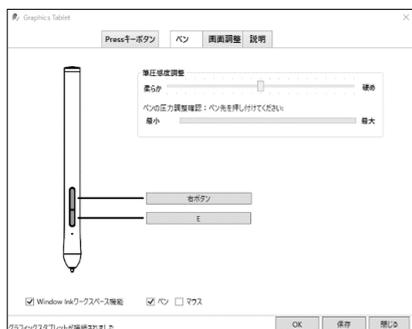
【ホットキー設定画面の説明】

- ・[マウスボタン]: 必要なマウス操作を設定できます。
- ・[切り替えスイッチ]: 複数モニターの切り替えなどに使用できます。
※ブラシ切り替えはPhotoshopのみ有効です
- ・[シェルプログラム]: アプリケーションプログラムを割り当てられます。
ホットキーを割り当てた本体ボタンを押すと、アプリケーションをすばやく実行できます。

- ③ 「OK」または「保存」をクリックして
ホットキーを有効にします。



5-2.[ペン]タブ



- ペンボタンのデフォルト機能は、下側が「E」で、上側は「マウスの右ボタン」です。
それぞれ機能割当をカスタマイズできます。各ボタン名をクリックし設定してください。
- ペンを使用中は、パソコン画面上的のマウスカーソルの位置はペンのタブレット上の位置と同期します。

□Windows Inkワークスペースの起動

この機能は、Microsoft Officeで図形描画やオフィスソフトウェア操作時、Adobe PhotoshopやSketchbookなどで使用します。

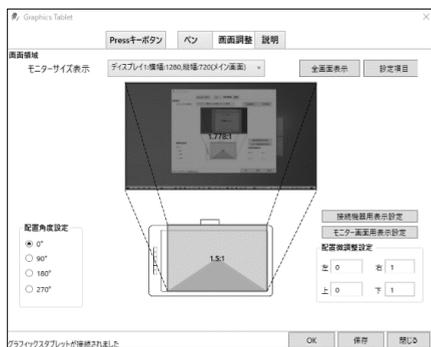
□ペン：タブレット画面上でタッチすると、パソコン上での「クリック」機能としてデフォルトで設定されています。

□マウス：ペンをマウスとして使用できます。

[筆圧感度調整]：ペンとタブレットの間の筆圧力感知を調整します。

[ペンの圧力調整確認]：タブレット上でペンを押し付けることで、ペンの圧力値を確認します。

5-3.描画領域の設定



タブレットの描画領域を調整したい場合には、
[画面調整]タブにて設定します。

[画面調整]：タブレットの描画領域の範囲を調整できます。

パソコンのモニター上のマウスを操作できる範囲にも相当します。

- 複数のモニターがある場合は、ミラーモードに設定し各モニターに反映させることができます。
- タブレットで拡張的な表示をするときには、モニターを選択する必要があります。

[接続機器用表示設定]：タブレットの有効筆跡面積は、モニターと同じ比率に相当します。

タブレットを直接接続するパソコンとの描画領域を調整します。

パソコン表示とタブレット上の描画で比率が違う場合、例えば正円を書いているのにやや楕円になってしまうような場合にもこちらで調整可能です。

マウスとしての動作範囲の調整も同様となります。

[モニター画面用表示設定]：タブレットを接続したパソコンに外部モニターを接続して利用する場合などには、こちらで調整可能です。モニターとタブレットで比率が違う場合は、タブレットに円を描くと楕円形になることがありますので個別に調整願います。

[配置角度設定]：タブレットの向きを、縦や横に置く場合の設定ができます。

5-4.[その他]タブ

[設定内容をインポート/エクスポート]：設定をインポートまたはエクスポートすることができます。別のパソコンを使用して製品を設定する際に便利です。

[初期設定内容にする]：元の初期状態の設定に戻ります。

Graphics Tablet が起動しない場合

パソコンのシステム環境によって、デスクトップショートカットから起動しない場合があります。その場合、Windows 画面右下「通知領域」内のアイコン右クリックで起動をお試しください。
[Windows 画面右下部分]



- ① Windows 画面右下のタスクバーにアイコンが表示されていない場合には、タスクバー内の ^ 部分をクリックします。
- ② GraphicsTablet アイコンを確認 します。
- ③ 右クリック - [ドライバを再起動します]をクリックします。※システム内でリセットされます。
- ④ 次に、右クリック - 「ディスプレイ」で、GraphicsTablet 画面が表示されます。

6.Q&A

※製品サポートページもご用意しております。巻末のQRコードよりご参照ください。

状況事例	対処方法
タブレットが携帯機器と接続されない	<p>タブレットとのBluetooth接続はスマホのBluetooth設定から検出して接続する仕様ではありません。</p> <p>※Bluetooth設定画面でペアリングしようとしてもデバイスとしては表示されません。</p> <p>[eDraw]アプリを起動して、[iDraw]-[私の作品]の画面右上の+ボタンから[DigiNote接続]または、[DigiNote]のデータを取り込む)をタップすると、タブレットがスキャンされBluetooth接続されます。</p> <p>それでも解消しない場合には、下記をお試しください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) "RESET"穴にピンを3秒間挿入して、デバイスをリセットします。 2) eDrawアプリ内の動作を閉じてからアプリを終了します。 3) 携帯機器のBluetooth設定を一度オフにし、オンにします。 4) eDraw アプリを再起動し、再度[DigiNote接続]からお試しください。
タブレットがパソコンとの接続で動作しない	<ol style="list-style-type: none"> 1) タブレットの電源が入っていることを確認します。 2) USBケーブルを接続し直すか、接続するポートを変更する、または別のケーブルでお試しください。 <p>※別のUSBケーブルでうまく動作する場合、付属ケーブル初期不良となりますのでご連絡ください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 3) 「GraphicsTablet」ドライバが正しくインストールされていることを確認します。正しくインストールされていない場合は、ドライバを再インストールしてください
Graphics Tabletが起動しない	<p>パソコンの環境によりデスクトップアイコンから起動しなくなる場合があります。（※P.23参照）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 画面右下の通知領域のアイコンから起動をお試しください。 2) 起動しない場合、アイコン右クリック⇒「ドライバを再起動します」⇒「ディスプレイ」をお試しください。 3) どうしても起動しない場合、アンインストールしてPC再起動後、再インストールをお試しください。
本体ボタンに割当ショートカットキーが動作しない	<ol style="list-style-type: none"> 1) 「GraphicsTablet」を起動し、[Pressキーボタン]タブ内の設定を確認してください。 2) 該当機能の設定が正しいことを確認し、うまくいかない場合再設定をお試しください。
ペンが動作しない	<p>使用しているペンが反応するか確認します。反応しない場合「ペンの動作調整」をお試しください。（※P.7参照）</p> <p>パソコン上で動作しない場合には、ドライバが正しくインストールされていることを確認してください。</p>
ペンのキーボタンが動作しない	<p>ペンのキーボタンを押すときはペン先をタブレットの描画領域内におき、ペン先とタブレット表面の間の距離が10mm内で動作するか確認してください。</p>
パソコンソフトの描画機能で反映されない	<p>他メーカーのタブレットドライバがインストールされている場合、正しく動作しない可能性があります。また、「GraphicsTablet」が正しくインストールされていない可能性もあります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 他メーカーのタブレットドライバをアンインストール、または「タスクの終了」し再度お試しください。 2) 変わらない場合、描画ソフトウェアを閉じてから「GraphicsTablet」再インストールをお試しください。 <p>再インストールした後に、描画ソフトウェアを起動し再度お試しください。</p>
筆圧を感知しない	
スリープモードに切替わらない	<p>ペンを使用しない場合、タブレットの作業領域面にペンを置かないでください。タブレットの作業領域上にペンを置いた状態では起動中となりスリープモードに切替わることが出来ません。</p>
eDrawで消しゴムをうまく使えない	<p>消しゴムは、元々描いたペン先の種類ごとに使い分ける仕様になります。</p> <p>「鉛筆」で書いた部分を消す場合「鉛筆」+「消しゴム」を選んだ状態で指でなぞってください。</p> <p>「鉛筆」または「マーカー」の太さを調整することで「消しゴム」の消し幅を調整することができます。</p>

製品情報

■タブレット本体

DigiNote Pro2 本体寸法

256.0*160.5*11.7mm

DigiNote Pro2 本体 重量：335g

バッテリー容量：1000mAh

入力：5V/1A

充電時間：約3-4時間

利用可能時間：50時間の連続使用

保存：本体のみでおよそ8時間連続使用

(50～100ページ)分

接続タイプ：Bluetooth,

Micro USB Type-B

■専用ペン

ペンの寸法：138.3*11.8mm

ペンの重さ：12g

バッテリー容量：80mAh

入力：5V/1A

誘導法：電磁誘導方式

誘導の高さ：5-14ミリメートル

ペン工法：筆圧感知：8192レベル

解像度：5080LPI

■セット内容

- 「DigiNotePro2」本体
- 専用スマートペン（バッテリーレス）
- 交換用の予備ペン先3本（専用スマートペン内に収納）
- MicroUSB充電/PC接続用ケーブル
- リセットピン
- 日本語取扱説明書兼保証書（本書）

7.保証について

保証期間は製品購入後1年間です。修理等が必要な場合は、領収書や保証書など、購入を証明できるものをご準備の上、購入店舗までご連絡ください。

保証期間内であれば、修理等無料サービスを適用できます。

購入後1年間を超えている場合でも、製品と購入が証明できるものご用意の上、購入店舗にご連絡ください。

修理サービス等のご相談をさせていただきます。

以下の場合には保証対象外となります

1. VSON社以外で生産された製品の場合
2. VSON社で製品や部品の提供が終了している場合
3. 地震、火災、その他の自然災害や事故などにより故障または損傷した場合
4. 使用上の誤り、不適切な保管方法、異常な電圧、不当な修理や改造など、人為的な行為により故障または損傷した場合
5. 製造番号の不正な改ざん及び破損が見られた場合
6. 機器本体や部品が保証期間を超えている場合
7. 並行輸入品や弊社および他の正規販売店以外からお求めの場合

*本保証条件の適用はVSON社および輸入販売元の判断によるものといたします。

Vson Technology Co.,Ltd

輸入販売元：MKTrade

問い合わせ先：右側QRコードよりお願いします。



製品問合せはフォームから

安全にお使いいただくために

1. 本製品を落下させたり、激しい振動や衝撃を与えないでください。
直接日光のあたる場所や雨の中で使用しないでください。
2. 保管に適した環境は、-5°C～45°C、湿度75%以下です。以下の場所では保管しないでください。
(高温多湿の場所、ほこりの多い場所、腐食性物質や火気のそばなど)
3. USB充電コネクタ部分をショートさせたりしないでください。
4. バッテリー部分(作函領域部背面)が膨張や変形などした場合は、ただちに使用を中止してください。
5. お子様ひとりでの使用には十分にお気を付けてください。
6. 「家庭ごみ」として本製品を廃棄しないでください。バッテリーや部品がリサイクルできる場合があります。
お住まいの地域や自治体の方針に従って、処分してください。

上記のご注意を守らず使用したことにより、生命もしくは身体の安全を脅かす、多額の財産損失などの損害が生じた場合でも、VSON社および輸入販売元は一切の賠償責任を負いかねます。

その他

1. 本製品は精密部品が使用されております。高温な場所では使用しないでください。
また鋭利なものなどで傷をつけないようご注意ください。
2. 専用アプリは随時改定に努めております。予告なしにバージョンアップされる場合がございます。それにより表示が若干変わる可能性がございますことをご了承くださいませ。

保証書

本書はお買い上げ日(※1)から下記の保証期間中に故障等が発生した場合には、本取扱説明書に記載内容で無料修理・交換等を行うことをお約束するものです。

製品名：DigiNote Pro2

お買い上げ日：※1参照

保証期間：お買い上げから1年間

メーカー：VSON

輸入販売元：MKTrade

※1 お買い上げ日 インターネット販売の場合、配達受取日からとなります。店頭でのご購入の場合は、レシートの日付となります。

※インターネット販売の場合、ご注文を証明する内容（注文番号と氏名など）を、店頭でのご購入の場合レシートを提示していただくことが必要となります。

※並行輸入品や弊社および他の正規販売店以外からお求めの場合、保証対応は出来かねます。

本取扱説明書兼保証書、レシート等は製品をお使いの間たいせつに保管してください。

保証対応、製品に関するお問い合わせ等はメールにて承ります。

問い合わせ先： 右側QRコードよりお願いします。



製品サポートサイト (MKトレード)



製品問合せはフォームから

